

中村かずひこ通信

【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4
Tel. 0285-82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp
ホームページ <https://www.nakamurakazuhiko.com>



vol.74



議会での質問の様子が、インターネットの録画配信でご覧いただけるようになりました。



現在、中村のホームページに「新型コロナウイルス感染症」に関する情報を掲載しています。



中村のホームページ

9月定例議会報告 9/1▶9/30

9月定例議会が、9月1日(水)から30日(木)の30日間にわたって行われました。今回、執行部から提出された議案は、令和2年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算など計19件で、いずれも原案通り可決されました。

代表質問

議員による質疑・一般質問は、8日(水)に行われ、中村はトップバッターとして登壇。会派『もおか新時代』を代表して、4件の課題について執行部との論戦を展開しました。



- 執行部は答弁の中で、
 - ◆令和7年までに撤退することを発表したホンダ真岡工場に対して、雇用対策や工場跡地利用、関連企業への対応などを強化していく
 - ◆学力向上の成果があがった学校に聞き取り調査を行い、その取り組みを市内全校に広めていく

などの考えを明らかにしました。(中面に関連記事)

中村が行った代表質問の内容

- 1.産業政策について**
 - (1)ホンダ撤退による雇用や税収などへの影響について
 - (2)第6工業団地(新産業団地)の整備について
 - (3)起業家支援について
 - (4)「クラウドソーシング」の普及について
- 2.教育分野の諸課題について**
 - (1)今後の学力向上に向けた取り組みについて
 - (2)学校図書館における専任司書の増員について
- 3.公共施設の整備について**
 - (1)新しい学校給食センターの整備について
 - (2)芳賀地区広域行政事務組合斎場の建て替えについて
- 4.医療・福祉分野の諸課題について**
 - (1)宿泊療養施設の設置について
 - (2)子ども医療費無料化の対象年齢引き上げについて

決算審査特別委員会

また、28日(火)に行われた「決算審査特別委員会」において、中村は以下の7項目について質疑を行いました。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1. ファミリー・サポート・センター運営費について | 5. 土木総務費について |
| 2. 保育士対策事業費について | 6. 都市計画総務事務費について |
| 3. 農業振興費について | 7. 不登校対策費について |
| 4. 観光費について | |



さらに、定例議会の最終日である30日(木)に、中村は令和2年度の一般会計・特別会計・公営企業会計の決算について、会派『もおか新時代』を代表して、賛成の立場から討論を行いました。討論で中村は、他市町に先んじてPCR検査センターやワクチン接種の体制を整備したことを評価した一方、真岡市が「選ばれるまち」になるためにはさらなる努力が必要であることなどを指摘しました。

夢あるまちづくりへ 建議要望を市長に提出



9月定例議会の最終日である30日(木)、中村が代表を務める会派『もおか新時代』は、令和4年度の予算編成に対する建議要望を、石坂市長に提出しました。今回の建議要望には、合計で42項目の要望が盛り込まれました。



次回発行予定日

次回の「中村かずひこ通信」は

2月6日(日)

発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。



中村かずひと議会レポート

9月定例議会 代表質問



質問のやりとりが、インターネットの動画でご覧いただけるようになりました。

【答弁者】	
石坂 真一	市長
田上 富男	教育長
石田 誠	市民生活部長
仁平 明	健康福祉部長
滝田 真	産業部長
石崎慎太郎	教育次長

1. 産業政策について



質問 6月4日、ホンダが真岡工場での生産を令和7年までに終了し、**撤退する**との発表があった。

現在、同工場には**従業員**が約900名おり、そのうち**200名以上は市内在住**である。また、**ホンダと取引**をしている**市内企業**も多い。市では、雇用面や税収面などで、どの程度の影響が出るかと見込んでいるのか。また、今後の対応は。

答弁 雇用面については、**全従業員の雇用は維持**されるとのことである。市内在住の従業員についても、雇用継続をしていただきたいと考えている。また、**税収面**については、**ある程度の減収**は予想されるが、市の財政に**深刻な影響を与えるものではない**と考えている。今後も、県や商工団体などと連携し、雇用対策や工場跡地利用、関連企業への対応などを強化していく。

質問 **新産業団地**は、**第1工業団地の南側、約22.6ha**を候補地として平成29年度末に決定。来年度から本格的な造成工事に入り、**令和8年度の完成予定**となっている。

しかし、地域を長年支えてきた**企業が撤退**するリスクは**今後も否定できない**。そうした中で、当初の計画通りに新産業団地の整備を進めていくことは可能と考えているのか。

答弁 ホンダの撤退発表は、真岡市にとって非常に残念なことであり、地元経済への影響も少なくない。しかし、新産業団地の整備は、今も高い水準にある**栃木県への企業立地需要**や、**生産部門の国内回帰**などを的確に捉え、真岡市の**産業基盤の確立**のために不可欠なものと考えている。今後は、社会情勢の変化を十分に把握しながら、当初の計画通り**令和8年度の完了**を目指していく。

質問 今、全国各地で**起業家の育成・支援**や**既存の事業者の経営指導**を行う『**ご当地ビズ**』を設置する自治体が増えている。真岡市とほぼ同じ人口規模の**熊本県天草市**が設置した『アマビズ』は、開設から3年で**約4,400件の相談**があり、**100件近くの新規事業**を立ち上げている。地元経済を牽引してきた企業が撤退を表明した今、起業家の育成は喫緊の課題である。また、コロナ禍で冷え込んだ地元経済を立て直すためにも、『**ご当地ビズ**』を**開設してはどうか**。

答弁 現在、栃木県産業振興センター内に『**よろず支援拠点**』が設置されており、**真岡商工会議所**には、よろず支援拠点の**サテライト拠点**が設置され、**月2回の相談会**を実施している。真岡市では、創業や経営全般については、**商工会議所**や**商工会**が**常設の相談窓口**となっている。新たに『ご当地ビズ』を設置しなくても、必要に応じ、専門性の高い**コーディネーターにつなぐ**ことはできると考えており、『よろず支援拠点』の利活用促進のため、周知に努めていく。

質問 インターネットを活用して文書作成やデザインの仕事が受発注できる『**クラウドソーシング**』の普及に向けて、**今年2月に講習会**が開催された。コロナ禍の影響で、リモートワークが一般化する中で需要はさらに高まっていると思われるが、**今後継続する考え**はあるのか。また、**相談窓口の開設**も検討してはどうか。

答弁 今年2月に、初心者向けの『**クラウドソーシング**』の講習会をオンラインで開催し、20名の市民が参加した。**今年度も**応用編を取り入れることを視野に入れながら、**実施する予定**である。また、**相談**については、**商工観光課**のほか、**商工会議所**、**商工会**において**対応**したいと考えている。

2. 教育関係の諸課題について



質問 『**全国学力・学習状況調査**』(対象:小学6年、中学3年)で、栃木県は平成24年度から**5年連続**で**全科目が全国平均を下回る**状況だった。特に**真岡市**は、県の平均を**さらに下回る**ケースが多く、子ども達の学力向上が課題となっていた。

その後、真岡市では**学校教育課に指導係**を設けたほか、**市独自の学力調査**を行うなどの取り組みにより、近年の学力テストでは、**改善の傾向**が表れてきている。今後、さらなる学力向上に向けて、どのような施策を考えているのか。

答弁 今年度実施した『**とちぎっ子学習状況調査**』(対象:小学4・5年、中学2年)では、**全科目**において、真岡市は**県の平均を上回る**結果となり、これまでの取り組みが着実に実を結んできている。今後の**新たな取り組み**としては、学力調査で良好な結果を残した学校に**聞き取り調査**を行い、**市内全校**に広めていくほか、**AIDリルソフト**や**授業支援ソフト**など**ICTも活用**し、さらなる学力向上を図っていく。

質問 現在、真岡市では**学校図書館に専任司書**を配置している。しかし、その人数は**小学校14校**に対して**4名**、**中学校9校**に対して**2名**であり、専任司書は各校を巡回しながら子ども達の読書指導に当たっている。**読解力**は、子ども達のさらなる**学力向上**や**情操教育**に**欠かせないもの**であり、専任司書の増員を図ることはできないのか。

答弁 学校図書館における直近の**図書貸出冊数**を見ると、

	小学校	中学校
平成30年	97,742冊	9,601冊
令和元年	103,707冊	8,808冊
令和2年	105,697冊	13,176冊

であり、**小中学校**とも**増加傾向**となっており、効果も出していることから、現時点で**専任司書の増員**は**考えていない**。

3. 公共施設の整備について



質問 昭和54年に供用を開始した**第1学校給食センター**は、老朽化が課題となっており、**旧コンピュータ・カレッジ南側に令和7年度**の**開設**に向けて、建て替えの準備が進められている。

- 1 整備に向けた**進捗状況**は、どのようになっているのか。
- 2 子ども達の**アレルギー対策**について、何か進展はあったのか。
- 3 子ども議会でも意見が出ていた**食事内容の改善**への対応は。
- 4 教職員の負担軽減のため、給食費の**公会計化**を図る考えはあるのか。

- 1 現在、新しいセンターの**設計業者**を選定する**公募型プロポーザル**を実施している。
- 2 新しい学校給食センターでは、**アレルギー**の児童生徒が多い『**卵**』と『**乳**』について**対応**し、1日あたり**最大100食程度**を用意できる専用調理室を整備する。
- 3 保温・保冷性能に優れた**二重食缶**を導入するとともに、**温かい米飯**を提供できるよう、**食缶による提供**を検討している。
- 4 現在、県内14市中**4市**が給食費の**公会計**を導入している。**真岡市**も公会計化及び自治体による徴収の**実施を検討**している。

質問 芳賀地区広域行政事務組合が運営する**斎場の建て替え**が大きな課題となっている。昨年3月に『**新斎場建設基本計画**』が策定されたが、**候補地の選定**などは**未だに不透明**である。仮に候補地が決まっても、**基本設計**から**実施設計**、**建設工事**を経て**供用開始**までには**最短で5年**かかる。現斎場の**対応限界**が**4年後**に迎えることを考えても、具体的な**タイムスケジュール**を明確にすべきではないか。

答弁 今後の**タイムスケジュール**について、芳賀地区広域行政事務組合に確認をした。それによれば、現在候補地の**選定条件を整理**している段階にあり、条件の整理が済んだ後に、選定事務を進めていくことになる。**現時点においては未定**だが、施設の老朽化の状況を鑑みながら、早期の建て替えを念頭に事務を進めていきたいとのことであった。

4. 医療・福祉分野の諸課題について



質問 新型コロナウイルスに感染した真岡市民は、7～8月で276名に及び、そのうち**32.84%**にあたる90名は**家庭内感染**である。つまり、しっかりと**隔離を行えば**、感染者の**相当数を抑え込める**可能性が高いと言える。あらゆる建物の活用を視野に入れながら、市内に**宿泊療養施設**を設けることはできないのか。

質問 前回の6月定例議会で、今後の少子化対策・子育て支援策について質問した際、**子ども医療費無料化の対象を18歳にまで引き上げる**ことに**前向きな答弁**があった。この取り組みに向けて、今春の佐野市長選などでは、公約に掲げた候補者が当選している。今日の**自治体間競争**の激しさを考えると、できるだけ**速やかに決断**することが肝要と考えるが。

答弁 **宿泊療養施設の確保**や療養者への対応は、**栃木県が行う**ことになっている。現在、県内には宿泊療養施設が**4ヶ所あり**、9月中旬を目途に県央と県南地区に、**新たに2施設**を確保するとのことである。県と市町が連携して療養施設を確保している事例はないが、今後も引き続き、県や関係機関と連携を図っていく。

答弁 **子ども医療費無料化**は、県内14市中**7市が18歳まで**、他の**7市が中学生まで**となっており、地域間格差を引き起こしている。現在、**県内で統一的対応**が取れるよう、市長会議などの場で、県の助成を引き上げ、地域間格差の解消が図られるよう**要望を行った**ところである。

再質問



新産業団地の整備について

質問 **3年ほど前**にこのテーマについて質問をした際、**産業団地**に対する企業からの**ニーズは高く**、特に製造業や流通業の誘致を想定しているとの答弁だった。ホンダが撤退を表明した今も、**当時の見込み**と同様の**誘致は可能**と考えているのか。

答弁 ホンダの撤退は、真岡市にとって痛手であることは間違いない。その一方で、昨年真岡市に**本社機能を移転した企業**もある。**生産の国内回帰**の流れもあり、真岡市は**交通アクセスも誇れる**地域である。そうしたものをPRしながら、しっかりと誘致を進めていく。

要望 私が議員になったのは**平成15年**である。当時、真岡市は**第4工業団地**への企業誘致に**大変苦戦**を強いられていて、当時の福田市長や担当職員が苦勞された姿を、私自身も目の当たりにしてきた。今後とも、経済の動向を把握しながら、しっかりと対応をお願いしたい。

起業家支援について

質問 確かに『**よろず支援拠点**』はあるが、これは**国の事業**として各都道府県に設けられているものである。そのため、**あえて真岡市で起業**しようという**動機付け**には**なりにくい**。差別化を図る何らかの取り組みが必要と考えるが。

答弁 『**ご当地ビズ**』を設置した場合、**数千万円の予算**がかかると予想される。一方『**よろず支援拠点**』は**コーディネーターが27名**おり、**真岡市から約16km**という立地条件の優位性もあるため、そちらを利活用した方がいいのではないかと考える。

質問 真岡市内の事業所が、『**よろず支援拠点**』や真岡商工会議所の**サテライト拠点**に相談をした**件数**はどのくらいあるのか。

答弁 **令和2年度**の実績として、『**よろず支援拠点**』への相談件数は72社で**302件**。**サテライト拠点**への相談件数は33社で**71件**となっている。

要望 先ほど紹介した**天草市の「アマビズ」**の場合、**3年間で4,400件の相談**、**100件近く**の**起業実績**がある。それと比較するとまだまだ少ない。また、全国各地の『**よろず支援拠点**』への相談件数は、令和元年度だけでも32万6,000件あり、多すぎて**十分な対応ができていない**ことは**国も認めている**課題である。そうしたことも視野に入れて、今後の起業家支援策を考えていただきたい。

学校図書館の専任司書について

質問 令和元年度、**小学校**の学校図書館の**貸出冊数**を児童数で割ると、1人あたり約25冊になる。しかし、**専任司書を全ての学校に配置**している**宇都宮市**は73.2冊、**芳賀町**は51.4冊であり、**2～3倍の差**がある。このことについて、どう感じているか。

答弁 児童1人当たりの**貸出冊数に差**があることは**認識している**。しかし、**読書は図書館で本を借りるだけではない**。朝の読書や学級文庫、さらにボランティアによる本の読み聞かせなども活用しながら、読書活動の充実に取り組んでいる。

要望 真岡市内の**小中学校を6名**で**巡回指導**するのは、**難しい部分**があるのではないかと。先ほど、子ども達の**学力向上**について質問をしたが、その際**キーワード**になるのは『**読解力**』と世界的に言われている。そうした側面をお考えいただき、**専任司書の増員**を検討していただきたい。

斎場の整備について

質問 いつ頃までに**候補地**が決まるのか。先ほどの答弁だと**まだまだ不透明**であると感じた。場所の選定だけでもあと**1～2年はかかる**ものと**認識すべきか**。

答弁 上三川町を含む1市5町の首長の間では、この問題についてのしっかりと認識を持っている。**いくつかの候補地を選ぶ**ことになると思うが、**できるだけ速やかに結論**を出したいと考えている。

要望 今年の2月定例議会で質問した際、**市民から想像以上に問い合わせや意見**が寄せられ、私も正直驚いている。それだけ関心度の高いテーマということである。広域行政のことなので、すぐに答えを出すのは難しいかも知れないが、できれば**次の12月定例議会の前には結論**を出していただきたい。

子ども医療費の無料化について

質問 県全体で**子ども医療費無料化の対象年齢**を引き上げ、地域間格差をなくそうとすることは、市の負担軽減にもつながるので極めて常識的な考え方である。しかし、他市では着々と進んでいる状況でもあり、**遅れを取るの**は**問題**だと思われる。周囲との調整を含め**いつごろまでに結論**を出すのか。

答弁 自治体間格差をなくそうという思いから、国や県に要望をしてきた。しかし、その回答を待って動くということではなく、**周囲の動きに注視しながら判断時期**を**考えたい**。

大学生インターンシップ事業

8～9月の2ヶ月間、中村はNPO法人ドットジェーピーが主催するインターンシップ事業で、大学生達を受け入れました。

今回参加した学生達



海老原 宏樹さん
白鷺大学 法学部 2年



田中 仁英さん
白鷺大学 法学部 2年



菊地 悠斗さん
白鷺大学 法学部 1年



菅野 友恵さん
白鷺大学 法学部 1年

活動の様子



《市内企業などを視察》

市内の企業やコミュニティスペースなどを訪問し、関係者の方々から貴重なお話を聞きました。



《政策コンテストに向けて》

事務所対抗で行った政策コンテスト。今回は『働き方改革』をテーマに選び、発表を行いました。



《意見交換会》

政策コンテストで発表した内容に基づいて、市の職員や議員達と意見を交わしました。

コラム むあっぴ

平成24～28年度にかけて、栃木県は『全国学力・学習状況調査』において、大半の科目が全国平均を下回る状況にあった。その中でも真岡市は、県の平均をさらに下回るケースが目立ち、子ども達の学力向上が大きな課題となっていた。

その後、真岡市では学校教育課に指導係を設け、授業の質の向上に努めたほか、ICT教育の推進、そして市独自の学力調査などの施策が展開されてきた。その結果、近年の学力テストの結果を見ると、改善の傾向が徐々に表れてきている。

今後、さらなる教育の充実化に向けて、1つのキーワードとなるのが『読解力』であると私は考えている。

OECD（経済協力開発機構）が3年に1度実施している国際的な学力調査『PISA』において、日本は平成15年と18年に大きく順位を落とし、『ゆとり教育』の問題点が指摘されるようになった。その後、学習指導要領の見直しなどもあって順位は改善されたのだが、なぜか『読解力』の分野だけは、平成24年の7位をピークに、27年が8位、そして30年は15位と、今も順位が落ち続けている。

現在、真岡市では、小学校の学校図書館に専任の司書を4名、中学校に2名配置している。しかし、小学校が14校、中学校が9校あるため、専任司書は各校を巡回しながら読書指導をしている状況にある。よりきめ細やかな読書指導を行い、子ども達の『読解力』を高めていくには、宇都宮市や芳賀町のように、全ての小中学校に専任司書を配置することが理想であろう。いきなり全校への配置は難しいとしても、せめて段階的な

増員は図れないものだろうか。

この件について9月の定例議会で提案したが、小中学校とも図書館の貸出が増加傾向にあるので『専任司書の増員は考えていない』というのが教育委員会の見解だった。

しかし、小学校の学校図書館の貸出冊数を見ると、令和元年度、真岡市は児童1人平均約25冊であったのに対して、宇都宮市は約73冊、芳賀町では約51冊となっている。専任司書を全小中学校に配置している自治体とは2～3倍の開きがある。学力向上、取り分けて『読解力』に光を当てていくのであれば、この分野にはもっと力を入れるべきである。

学力向上は、子ども達のためであるのはもちろんだが、定住人口の確保や企業誘致の推進などにも、極めて重要な要素であることは今や常識となっている。

かつて炭鉱町として栄えた福岡県飯塚市でも、子ども達の学力が大きな課題であったが、この10年ほどの間、学力向上に向けた取り組みを続け、全ての小中学校で全国の平均値を上回るようになった。そして、子育て世代の移住・定住が促されるようになり、結果として市税収入も右肩上がりの状況が続いているという。

ちなみに、飯塚市が行ってきた取り組みは、私が市議会で繰り返し提案していたものでもあり、『あの時、真岡市でも実施していれば今ごろは…』と歯ざしりしたくなるのだが、それはともかく、子ども達の学力向上に向けてやるべきことは、まだまだ沢山あるということ、真岡市の教育委員会にはぜひともお考えいただきたい。

『読解力』をキーワードに 学力向上の次なる一手へ

中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は
中村までご連絡下さい。

〔振り込み先〕
真岡信用組合本店
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会
代表 中村和彦

中村かずひこと活動日誌

7月	8月	9月
5日 あいさつボランティア 真岡新聞音訳作業 （『ひばりの会』の活動として）	2日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議 広報広聴委員会	1日 議会運営委員会／議員協議会 9月定例議会開会／表彰審査委員会 会派『もわか新時代』勉強会
8日 広報広聴委員会	3日 協和公民館『高齢者学級』（於：筑西市）	2日 大学生インターン指導日
12日 あいさつボランティア 広報広聴委員会 全国若手市議会議員の会OB会役員会	5日 子ども議会を傍聴	3日 大学生インターン指導日
14日 真岡市公民館西分館女性学級	6日 広報広聴委員会	4日 NPO法人ドットジェーピー『未来国会』
16日 大学生インターンとの面談	8日 『わかば会』奉仕作業	6日 あいさつボランティア
18日 NPO法人ドットジェーピー 『キックオフミーティング』	10日 大学生インターン指導日	8日 質疑一般質問 ※この日、トップバッターとして登壇
19日 あいさつボランティア	15日 栃木県戦没者追悼式（於：宇都宮市）	9日 会派『もわか新時代』勉強会
20日 会派代表者会議 議員協議会	18日 全国若手市議会議員の会OB会総会 ローカル・マニフェスト推進連盟 『議選監査に関する勉強会』	13日 あいさつボランティア 広報広聴委員会座談会
22日 『そらいろポケット』プレオープンイベント	19日 大学生インターン指導日	15日 コロナ問題オンライン勉強会
	20日 真岡女子高校放送部より取材 （『真岡自然観察会』の活動として）	16日 大学生インターン指導日
	21日 大学生インターン指導日	17日 大学生インターン指導日
	22日 NPO法人ドットジェーピー『中間報告会』	18日 文科省『国際／カローラ教育推進地域セミナー』
	25日 会派代表者会議／議会運営委員会 議員協議会／議会活性化等検討委員会 広報広聴委員会 代表質問の通告書を提出	21日 総務常任委員会1日目
	27日 大学生インターン指導日	22日 総務常任委員会2日目
	質疑一般質問調整会議 ※その後、担当課によるヒアリング	24日 決算審査特別委員会通告書を提出 ※その後、担当課によるヒアリング
	30日 新型コロナウイルス感染症対策支援本部会議	25日 NPO法人ドットジェーピー『最終報告会』
		27日 あいさつボランティア
		28日 決算審査特別委員会
		30日 会派代表者会議／議会運営委員会 議員協議会／9月定例議会閉会 広報広聴委員会／会派建議要望を市長に提出

